

## 胃カメラを受けられる患者さんへの説明

- 1 胃カメラの目的；胃カメラ検査は、口または鼻から内視鏡を挿入し、食道、胃および十二指腸を観察し、潰瘍、ポリープ、がん、炎症などの病気の診断を行うことを目的としています。
- 2 胃カメラの方法；①経口内視鏡（口から入れる）と②経鼻内視鏡（鼻から入れる）があります。
  - ① 経口内視鏡は、先端カメラの性能が優れ、極めて精細な画像が得られます。診断性能は高いですが、口からの挿入のため、人によっては嘔吐反射（オエツとする感じ）が強く出ることがあります。
  - ② 経鼻内視鏡は、経口内視鏡の半分かくらいの太さで、嘔吐反射（オエツとする感じ）がほとんどないので、検査の苦痛が少なくてすみます。画像解像度は経口内視鏡よりも若干劣るものの診断精度に問題はありませぬ。検査後まれに鼻血が出ることがありますが、しばらく鼻を押さえていれば止まります。
  - ① 経口内視鏡
    - 1) 胃の中をみやすくするための泡を取る薬を飲みます。
    - 2) ゼリー状の麻酔薬でのどを5分麻酔します。
    - 3) 内視鏡を口から挿入します。
  - ② 経鼻内視鏡
    - 1) 胃の中をみやすくするための泡を取る薬を飲みます。
    - 2) 鼻血予防の目的で血管収縮剤を点鼻し、次に鼻とのにどに麻酔薬を噴霧します。
    - 3) 内視鏡を鼻から挿入します。鼻から挿入困難な場合は、口から挿入します。

いずれも、食道・胃・十二指腸をまんべんなく観察し、必要ならば小さな組織を採取して（生検といいます）、病理検査に提出します。詳細な観察のために青い色素やヨード液を胃や食道に散布することがあります。検査時間は10分程度です。
- 3 鎮静剤について；カメラ挿入直前に鎮静剤（セルシン）を静脈注射すると、検査を楽に受けることができます。まれに血圧低下や呼吸抑制、薬液注入に伴う血管痛が出ることがあります。鎮静剤使用後は1時間ほどお休みいただき、麻酔が覚めてからお帰りをいただきます。その日は車の運転など危険を伴うことはやめていただきます。
- 4 偶発症について；鼻やのどの麻酔薬や鎮静剤によるアレルギー反応やショック、内視鏡操作や生検によっておこる出血や穿孔などが主な偶発症です。極めてまれに脳梗塞や心筋梗塞の報告があります。日本消化器内視鏡学会が調査した全国集計（2000年）によると、偶発症の頻度は0.007%、死亡率は0.00045%でした。万一、偶発症が発生した時は、連携病院にて外科的処置を含めた最善の処置をいたします。
- 5 心臓の疾患や脳血管障害などにより血液をかたまりにくくする薬（抗血栓薬：バイアスピリン、ワーファリン、プラザキサ、パナルジン、プレタール、エパデールなど）を内服中の方は、検査前からその薬剤の中止をお願いすることがあります。現在、他医でこれらの薬を処方されている場合、薬を中止してもよいか、主治医とご相談ください。心筋梗塞や脳梗塞の危険性が高く抗血栓薬をやめられない時は、観察のみとなります。生検の必要な病変が見つかったときは、後日、出血時の対応のできる連携病院をご紹介します。

## 1 検査前の注意点；

- \* 朝の胃カメラの場合、検査前日の夕食は、消化が良く刺激の少ないものを、21時までにおとりください。検査当日は、朝食はとらないでください。検査3時間前まではお茶・お水をお飲み頂いてもかまいません。それ以後はなににも摂らないでください。検査当日6時までには血圧の薬はお飲み頂いてもかまいませんが、糖尿病のくすりはのまないでください。
  - \* 夕方17時以後の胃カメラの場合、朝食は8時までにおとりください。以後の食事（昼食など）はやめてください。15時ころまでお茶・お水の摂取はかまいません。飴による糖分摂取も15時ころまではかまいません。朝の血圧のくすりはのんでいただいて結構ですが、糖尿病のくすりはのまないでください。
  - \* 持参していただくもの
    - ① 胃カメラ検査予約票（この紙）および胃カメラ検査の説明・同意文書（サインをお願いします）
    - ② 診察券、タオル、ティッシュペーパー
- 

## 2 検査後の注意点；

- \* 鎮静剤を使用した場合、1時間ほどお休みいただきます。検査当日は車の運転はおやめください。食事は検査後1時間以降なら可能です。生検（組織をとる検査）をした場合、当日アルコールは飲まないでください。生検の有無は検査後に説明します。色素を使った場合、胸焼けがしたり便や尿が青色になったりすることがありますが、心配ありません。
- \* 検査結果は当日お話しします。生検があった場合、病理結果が出るのに1週間かかりますので、結果はそれ以降になります。
- \* 検査前から中止していた抗血栓薬（バイアスピリン、ワーファリンなど）は、生検なしの場合は翌日から再開していただいてかまいません。生検ありの場合は、出血の兆候（黒い便がでたり吐血など）がない場合、翌々日から再開していただいてかまいません。
- \* 検査後、真っ黒の便が出る、血を吐いた、おなかが痛くなってよくなるなど、変わったことがありましたらご連絡ください。

連絡先；中村内科クリニック 電話；診療時間内 052-414-4431、時間外 090-5608-6216